

目次

- ① 表現ガイドラインの作成にあたって 1

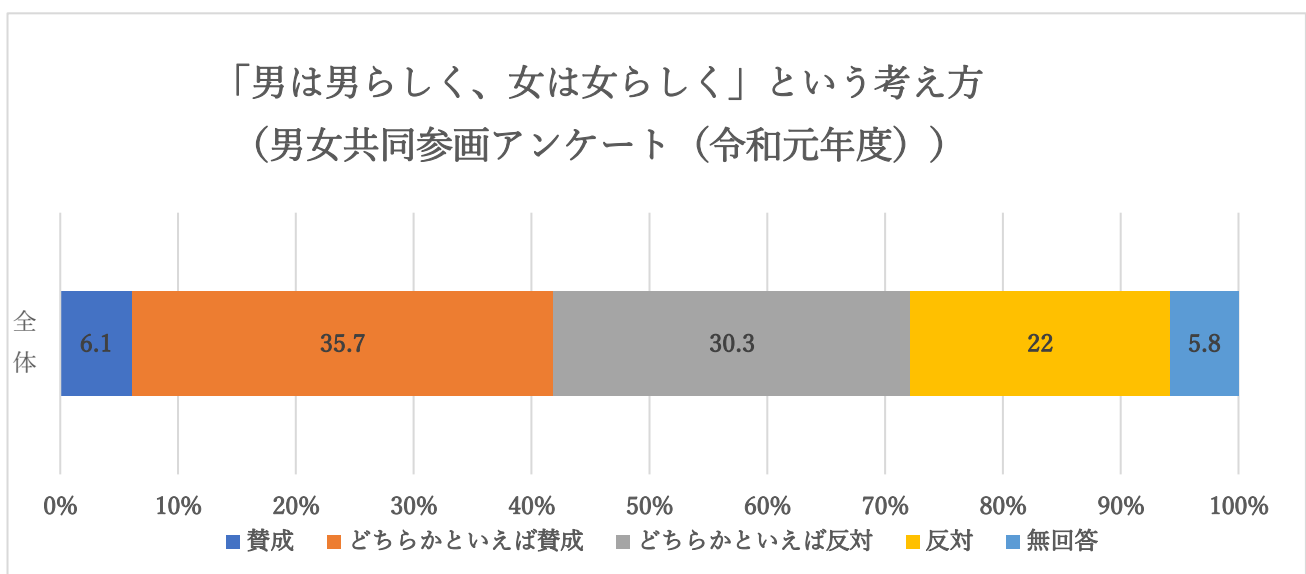
- ② さまざまな表現について
 - (1) 男女どちらかに偏った表現になっていませんか 2
 - (2) 男女が対等な関係になっていきますか 3
 - (3) 性別によってイメージを固定化していませんか 4
 - (4) 性別によって役割を固定化していませんか 5
 - (5) 女性をアイキャッチャーとして使っていませんか 6
 - (6) 見直したい言葉と表現 7

- ③ チェックシート 8

① 表現ガイドラインの作成にあたって

女性と男性が対等なパートナーとして互いの人権を尊重し、ともに支え合いながら喜びや責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、野木町ではこれまで、野木町男女共同参画推進条例等に基づき、様々な取組を進めてきました。

しかし、令和元（2019）年度に行った町民意識調査では「男は男らしく、女は女らしく」という考え方に賛成する人が41.8%（男性50.4%、女性34.8%）となっており、未だに性別による固定的な考え方が根強く残っていることが明らかになりました。



私たちは、仕事や日常生活に関わらず、刊行物やウェブサイト、SNS等様々な形で情報を発信しています。その際受け手は、発信された情報から無意識のうちに性別による固定的な役割分担意識を形成してしまう可能性があります。このため情報を発信する側は、固定観念や偏見の助長につながらないよう意識する必要があります。

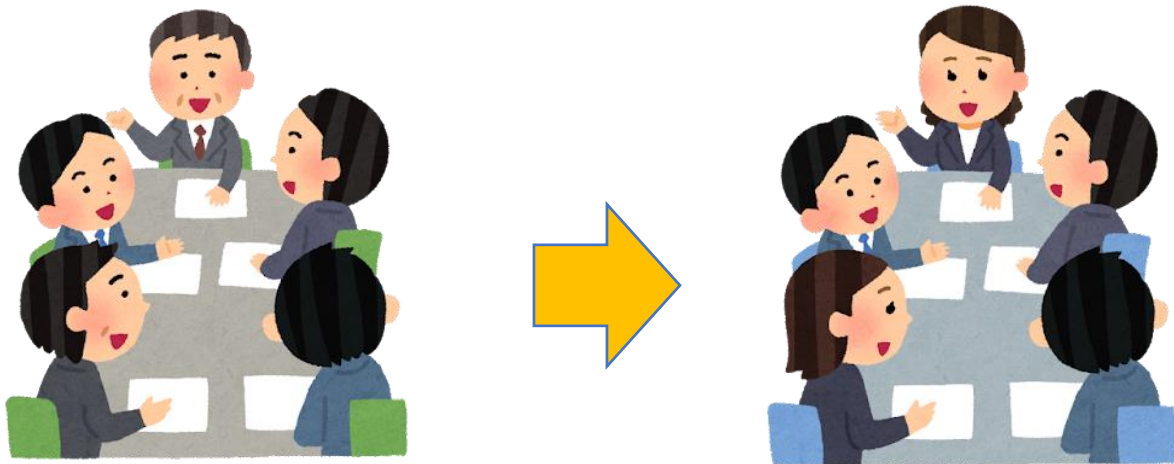
そこで、情報を発信するに際して、男女共同参画の視点からどのような表現が問題となるのか、より適切に表現するためにはどうしたら良いかを考える手がかりを提供することを目的として「男女共同参画の視点による表現ガイドライン」を作成しました。

このガイドラインは、皆さんの表現を強制するものではありません。皆さんが情報を発信する際に、どうすれば望ましい表現になるのかを考える際の参考にしてください。

② さまざまな表現について

(1) 男女どちらかに偏った表現になっていませんか

情報の受け手には女性も男性もいます。どちらかの性別に偏ったり、排除したりした表現にならないよう、年齢、性別、職業など多様な人がいることを念頭に置いて表現しましょう。



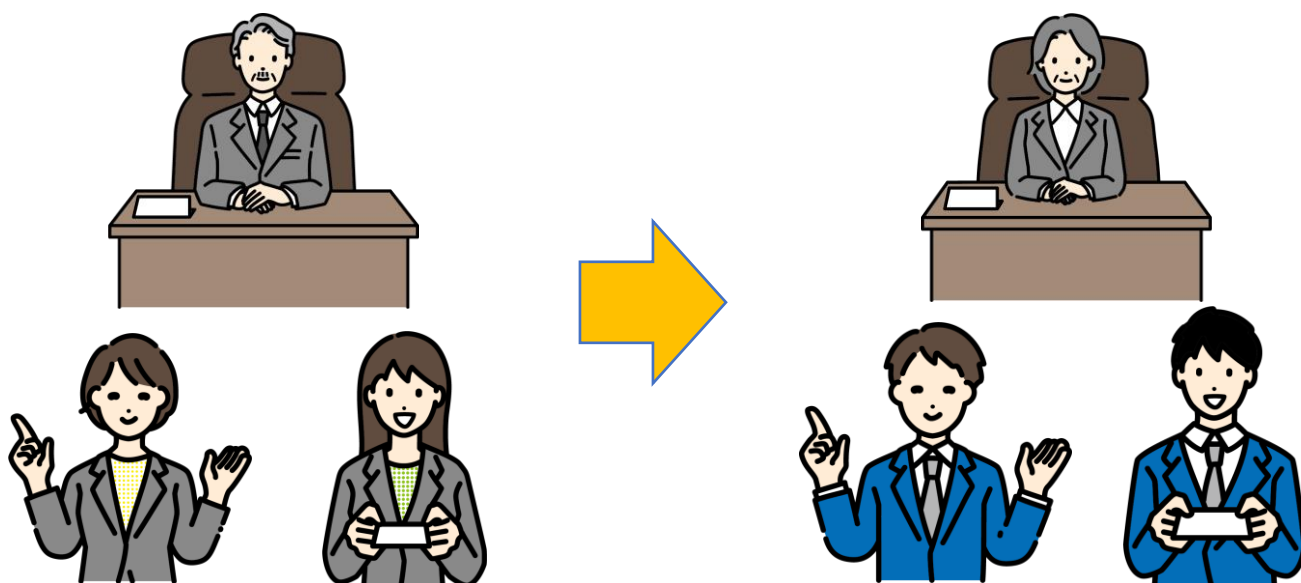
- 会議に参加するのは男性だけでしょうか。登場する男女比がほぼ半々になるように、片方の性に偏らない表現にしましょう。



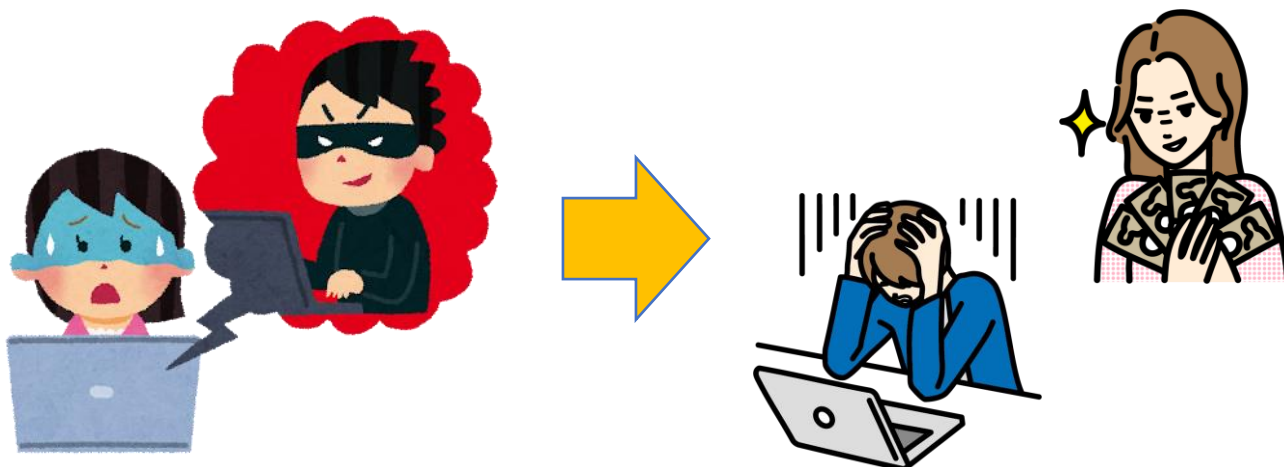
- 採用の対象は女性だけでしょうか。イラストが女性だけでは、男性が応募しにくい印象を与えるかもしれません。

(2) 男女が対等な関係になっていますか

男女間に「主従、上下、優劣、強弱」の関係があるかのような印象を与える表現にならないよう、女性と男性が対等な関係にある表現をするようにしましょう。



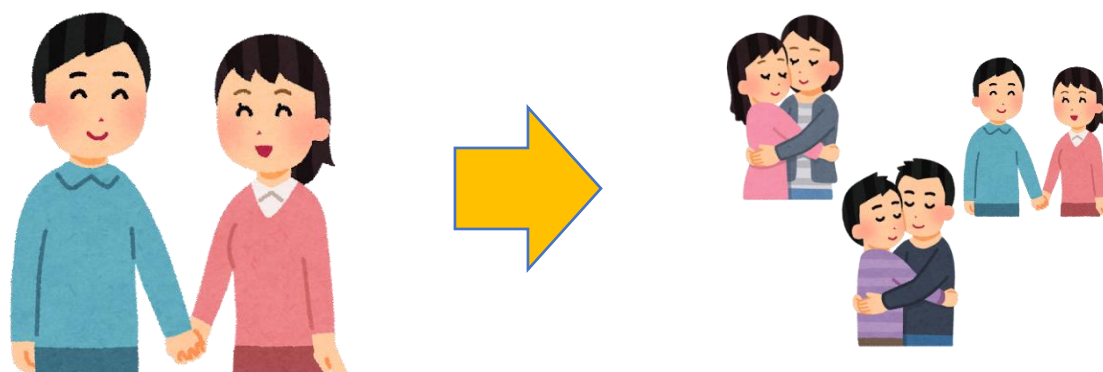
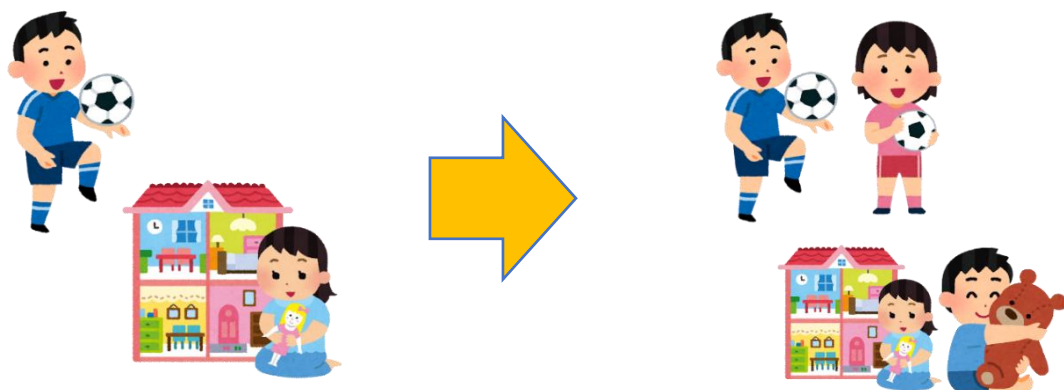
- 上司は男性で、部下はいつも女性でしょうか。女性の管理職も増えてきています。男女は平等で、地位や立場も様々であることを示す表現を心がけましょう。



- 被害者はいつも女性でしょうか。被害にあうのに性別は関係ありません。加害者、強者を男性、被害者、弱者を女性で表すのではなく、内容に応じて様々な表現を工夫しましょう。

(3) 性別によってイメージを固定化していませんか

性別で、服装や興味の対象、色の好み、男性は積極的、女性は控えめであるべき等のイメージを押し付けるような表現は避けましょう。また、性のあり方は非常に多様です。性別により固定観念や先入観により表現するのではなく、様々な個性があることを尊重し、多様な姿を描くようにしましょう。



- 女性でも男性でも興味や活動は様々な分野におよぶことに配慮して表現しましょう。

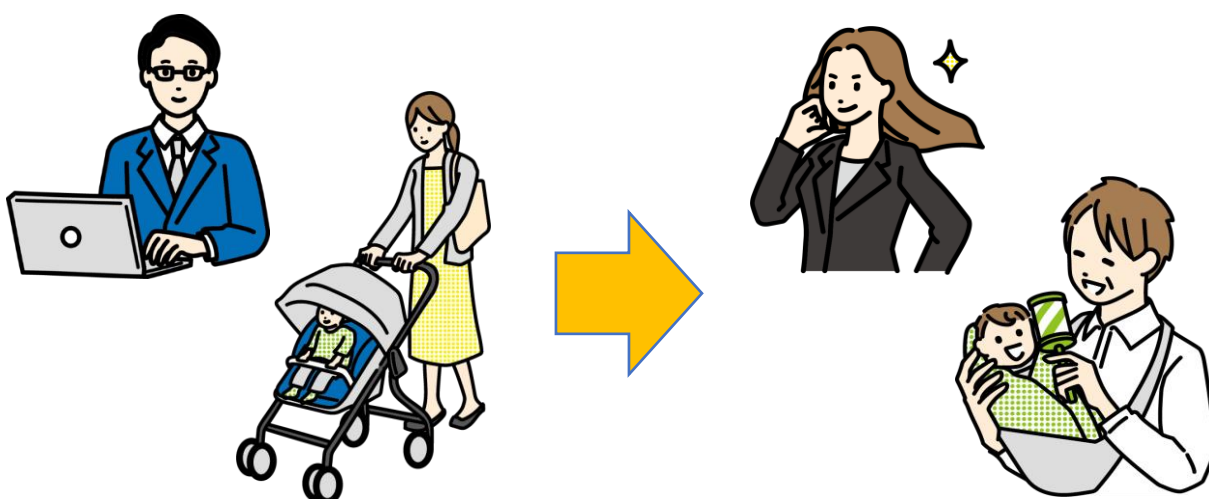
性的指向及び性自認の多様性について

同性を好きになる女性（レズビアン）、同性を好きになる男性（ゲイ）、異性を好きになることもあれば同性を好きになる人（バイセクシュアル）、からだの性と異なる性を自認する人（トランスジェンダー）等、性的指向や性自認のあり方は人それぞれです。

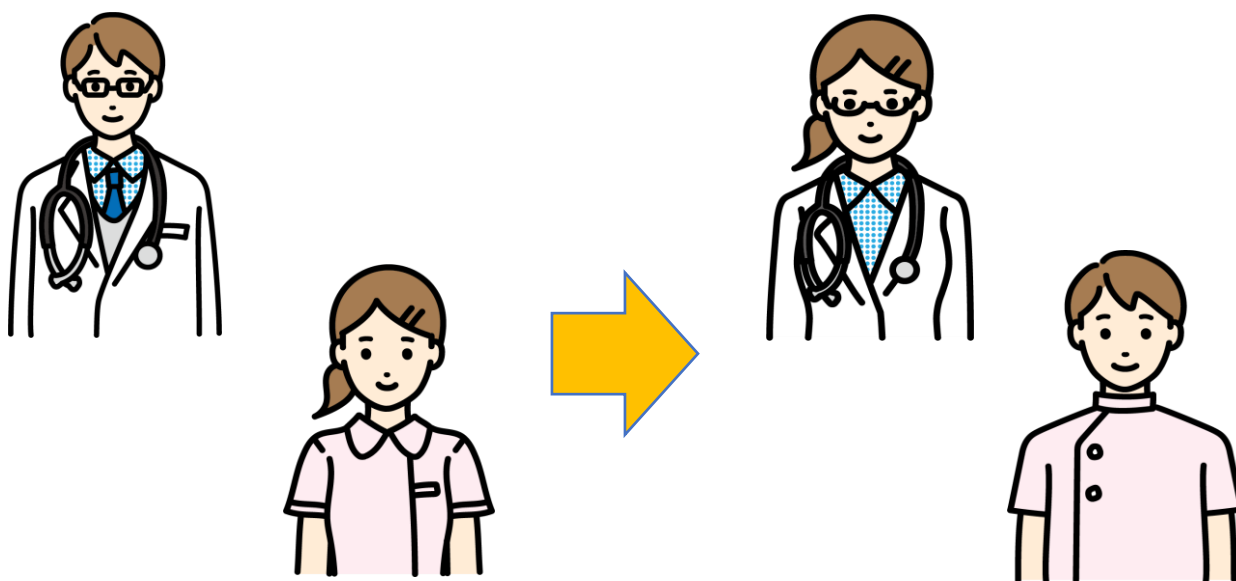
野木町では戸籍上の性別にとらわれず、一方または双方が性的少数者である二人が、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において経済的及び物理的かつ精神的に相互に協力し合うことを約束した関係であることを宣誓したことに對して、町が証明する「野木町パートナーシップ宣誓制度」を令和4年4月1日より開始しました。詳しくは町HPをご覧ください、もしくは生活環境課までご連絡ください。

(4) 性別によって役割を固定化していませんか

「女は家庭、男は仕事」等、固定的な役割分担意識にとらわれた表現をしていませんか。社会や家庭における男女の役割が変化していることを反映し、個々の人間性を重視し、家庭や職場等のあらゆる場面で男女の多様な姿を表現するよう意識しましょう。



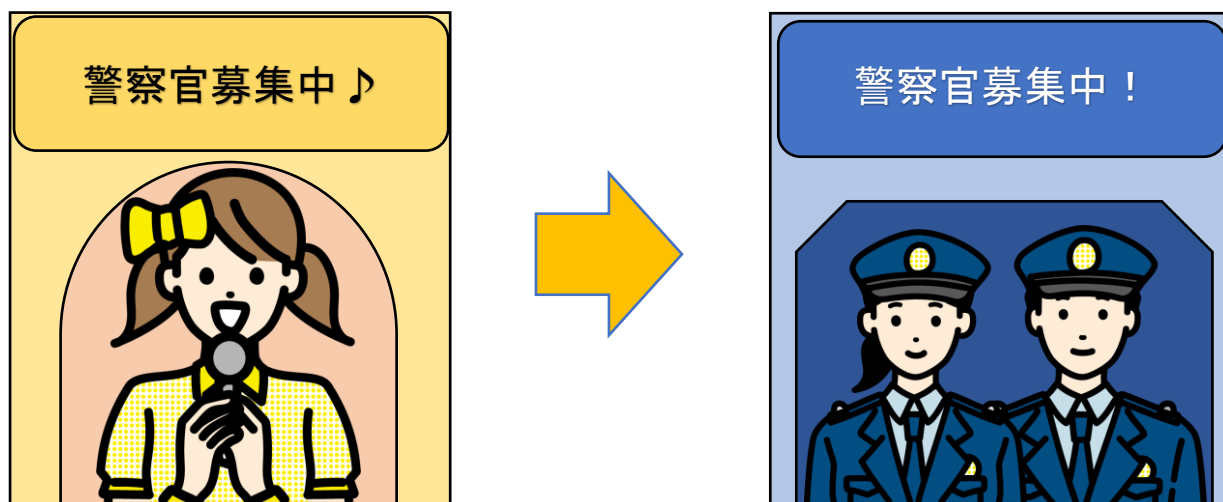
- 家事や育児は女性、仕事は男性の役割とは決まっていません。男女ともに様々な役割を担っている姿を表現しましょう。



- 様々な職業に女性も男性も描き、職業にまつわる性別イメージを固定化しないように表現しましょう。

(5) 女性をアイキャッチャーとして使っていませんか

広告手法の一つに、女性の外見（若さや性的側面等）を利用し興味を引くアイキャッチャーというものがあります。安易にアイキャッチャーとして起用するのではなく、伝えたい内容に沿った表現となるよう心掛けましょう。



■例えばこんな表現をしていませんか？

- 若い女性の水着姿等、女性の性的側面を強調して使用する。
- 美人〇〇等、個性や能力に無関係な、女性の容姿に注目した表現をする。

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見・思い込み）とは？

社会に存在している自分自身が気付いていないものの見方や捉え方のゆがみ・偏りのことです。過去の経験や習慣、周囲の環境等から身につき、思い込みが生じます。

「若い人は発想が新鮮」、「子どもは母親が育てた方が良い」、「男性は運転が上手い」等、当たり前とされていることを本当にそうなのか考え、見直すことが重要です。

(6) 見直したい言葉と表現

普段、何気なく使っている表現の中にも、これまでの社会の習慣やしきたり、性別による固定化されたイメージが反映されている場合があります。表現しようとする言葉が相手方に配慮したものになるよう見直してみましょう。

見直したい表現	望ましい表現
<ul style="list-style-type: none"> ・サラリーマン ・カメラマン ・マンパワー ・行政マン 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社員 等 ・撮影スタッフ、写真家 等 ・人材 等 ・行政職員 等

○ 男性を優先したり、不必要に性別を限定している表現です。男女双方を表す表現に直しましょう。

見直したい表現	望ましい表現
<ul style="list-style-type: none"> ・女教師 ・女子アナ ・キャリアウーマン ・女流作家 ・職場の花、看板娘 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師 等 ・アナウンサー 等 ・会社員 等 ・作家 等 ・使用しない

○ 女性のみを表す言葉や、女性を鑑賞の対象とした表現です。対語のある言葉や男女双方を表す表現に直しましょう。

見直したい表現	望ましい表現
<ul style="list-style-type: none"> ・奥さん、家内 ・主人、亭主、旦那 ・嫁をもらう、やる、嫁ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・妻、パートナー 等 ・夫、パートナー 等 ・結婚する 等

○ 男性を主、女性を従ととらえ、女性は家の中にいるものという印象を与える等、古くからの観念にとらわれた表現です。男女対等になる表現に直しましょう。

見直したい表現	望ましい表現
<ul style="list-style-type: none"> ・女性のみ：〇〇さん、〇〇女史 ・男性のみ：〇〇君、〇〇氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも：〇〇さん 等

○ 性別によって呼称等を変えるのではなく、男女とも同じ敬称、呼称を使いましょう。

③ チェックシート

女性から見ても、男性から見ても違和感のない表現になっていますか。担当者をはじめ異なる性別、年代や立場で表示・印刷する前にもう一度確認してみましょう。

チェックポイント	チェック
登場人物、回数が男女どちらかに偏っていませんか	<input type="checkbox"/>
性別による固定的なイメージに寄らず、多様な男女が描かれていますか（服の色やデザイン等）	<input type="checkbox"/>
中心的な役割を男性、補助的な役割を女性が担うものとして表現していませんか	<input type="checkbox"/>
家事、育児、介護、看護をしているのは女性だけになっていませんか	<input type="checkbox"/>
職業、スポーツ、学術、遊び等で男女の描かれ方が固定化されていませんか	<input type="checkbox"/>
男女どちらかのみを表す表現になっていませんか	<input type="checkbox"/>
興味を引くためだけに、女性をアイキャッチャーとして起用していませんか	<input type="checkbox"/>
伝えたい内容は誰が見ても理解しやすい表現になっていますか	<input type="checkbox"/>
男女双方が確認し、違和感のない表現になっていますか	<input type="checkbox"/>
あなたの周りの大切な人を傷つける、不快にさせる表現になっていませんか	<input type="checkbox"/>